

「2007年1月から2011年12月までに川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

**研究課題名：非小細胞肺癌症例の術前 FDG-PET における早期相・遅延相での SUV (standardized uptake value) 変化の臨床的意義**

当教室では、2007年1月より2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けられた患者さんについて、手術前に行ったPET（ペット）検査が、癌の悪性度（リンパ節転移など）にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、手術前に行ったPET検査を、今後更に手術術式などの治療法に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はPETなどの画像および手術標本を再評価し、カルテからのデータを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

この研究に対する説明を御希望の方は、問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[問い合わせ先] 川崎医科大学 呼吸器外科学 准教授 清水克彦

1. 電話：086-462-1111 内線 25519
2. FAX：086-464-1124
3. 電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp